

事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和3年2月10日

事業所名: 粉河青空

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	8	0	外遊びや室内遊びに子どものスペースを準備したり、畑などの活動をしている。	
	2	職員の配置数は適切であるか	8	0		指導員1人1人の役割や責任感を高め配置数以上の連携を強化していく。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	7	1	子どもたちが利用しやすい動線を準備している。	環境の整備を行い子どもたちがわかりやすい環境作りをする。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	8	0	常に子どもたちと活動空間を片付けしたり、使いやすい、安全な環境になるように設定している。	
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	6	2		職員全員への周知を行う。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7	1	事業所評価を実施している。	アンケートの結果を踏まえて環境の整備等を行っていく。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	7	1		法人のホームページに掲載をしている。職員会議等で保護者の意見を共有する。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	0	8		法人独自の第三者を交えた評価を行う。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	8	0	内部研修を行い子どもの発達についてなどの研修を行っている。	より活動内容の充実や指導員のスキルアップのため外部講師を招くなどの年間研修計画を策定する。
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を作成しているか	8	0		日々の保育反省等で子どもの様子を的確にとらえて、活動の中で工夫をしていく。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	8	0	リーダーが保育デイリーを作成し、利用児の様子を踏まえ対応を行っている。	
	12	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画には、子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	8	0	生活年齢・発達年齢を考慮し、支援目標を設定し、活動の中で課題に向けてのチャレンジを行っている。	指導員だけでは難しい課題もあるので発達相談員のアドバイスをもらい活動内容、支援内容を決定していく。
	13	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われているか	7	1	子どもそれぞれの課題を設定し活動の中で失敗してもいいという気持ちで支援を行っている。	

適切な支援の提供	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	7	1		管理者中心に計画を行っているので毎月の職員会議でより充実した活動計画を立案する。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	8	0	行事予定をより充実させ保護者・子どもたちにとってわかりやすく参加しやすいものになっている。	行事予定をより充実し子どもも保護者も活動の内容を理解しより楽しく参加できる活動計画を策定する。
	16	(放課後等デイサービスののみ) 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	6	2	日々の活動の中に変化をつけながら子どもたちの様子を見ながら活動内容に工夫している。	実施しているので十分な打ち合わせを行い周知する。
	17	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を作成しているか	6	2	定例活動では集団の活動に意識を置き、参加しにくい状況でも見る参加も認めている。	定例活動・自由活動の中で個別活動や集団活動に子どもたちを誘いながら活動できるような計画の策定。
	18	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7	1	活動前には打ち合わせを行い子ども・大人が活動内容を分かって活動に取り組む。	実施しているので十分な打ち合わせを行い周知する。
	19	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	6	2	日々の業務の中で反省を行っている。	なかなか時間を作るのが難しいが定期的な会議の実施で反省等を行う。
	20	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	8	0	業務日誌や保育日誌を作成し日々の活動の検証を行っている。	個人ノート(利用児)を作成し、より子どもの様子を的確に捉え、記録し必要な場合はケース会議を実施する。
	21	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	8	0	法人相談員と連携し保護者のニーズ等を報告している。	
	22	(放課後等デイサービスののみ) ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせる支援を行っているか	8	0	ガイドラインを配布し指導員同士で読み合わせを行っている。	
	関係機	23	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	8	0	管理者・児発管が参加している。
24		(児童発達支援のみ) 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	/	/		
25		(放課後等デイサービスののみ) 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	8	0	送迎時に担任などと学童での様子を伝えるなどを行っている。	連携が不足になる場合もあるので担任や学年が変更になる場合は年度始めに学校を訪問し連携等を行っている。
26		(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	/	/		
27		(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	/	/		

関 や 保 護 者 と の 連 携 関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	28	(児童発達支援のみ) 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	/	/		
	29	(児童発達支援のみ) 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	/	/		
	30	(放課後等デイサービスののみ) 就学前に利用していた保育所や認定こども園、幼稚園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	7	1		各センターに指導員が保育体験をさせていただき、その中で利用予定の児童に対する対応等を共有している。
	31	(放課後等デイサービスののみ) 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	7	1		作業所利用の際にでてくる共有しないといけない内容は事前に相談員を通じ共有していく。
	32	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	7	1		発達相談員や保育の中で対応に困った際には4部会議等で対応について協議しアドバイスをもらっている。
	33	児童発達支援の場合は、保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合は、放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会があるか	/	/		
	34	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	8	0	積極的に参加し、事例報告等もしている。	継続して参加し、他の事業所との連携等を深めていく。
	35	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	8	0	停留所の送迎を実施し子どもの様子などを伝え、連絡ノートだけでは伝えきれないことも伝えている。	送迎時や電話、面談を通して子どもたちの様子を伝え、課題や目標について共有している。
36	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	8	0		保護者学習会の実施や保護者交流会を充実させ、より多くの方に参加していただける内容を検討する。	
保 護 者 へ の 説 明 責 任 等	37	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	8	0	契約時・利用がスタートする際に説明を行っている。	面談等を通してより丁寧に説明を行っている。
	38	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画の同意を得ているか	8	0		保護者との面談を実施し、より丁寧に説明を行い、活動、目標等についての理解を深めていく。
	39	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	8	0	連絡ノートやメールなどを使い保護者からの相談には迅速に対応している。必要に応じて発達相談員にアドバイスを求めている。	連絡ノートだけではなく送迎時に相談に対しての対応をしたり、面談を通して適切なアドバイスを送れるようにしている。事業所だけでは難しい場合は法人内事業所にアドバイスをもらう。
	40	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	7	1	親子イベントを年2回計画している。	職員も参加出来る内容を計画する。
	41	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8	0	連絡ノートやメールなどを使い保護者からの相談には迅速に対応している。必要に応じて発達相談員にアドバイスを求めている。	連絡ノートだけではなく送迎時に相談に対しての対応をしたり、面談を通して適切なアドバイスを送れるようにしている。事業所だけでは難しい場合は法人内事業所にアドバイスをもらう。

	42	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	8	0	毎月活動報告のお便りを配布している。	お便りの内容をより充実させて保護者にとっても活動が分かるお便りなどを作成していく。
	43	個人情報の取扱いに十分注意しているか	8	0	事務所内で個人情報の管理をしている。	適切に管理している。
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	8	0	連絡ノートやその他のツールを利用してわかりやすく説明をしている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	7	1	しめ縄作りや餅つきなどイベントを開催し地域の方に参加していただいている。	地域の方も参加できる活動を計画する。
非常時等の対応	46	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	8	0	マニュアルを作成し職員会議の中で確認を行い訓練を行っている。	マニュアルの見える化をより進め職員会議等で各マニュアルの確認を行っていき、それをもとに訓練計画を策定し訓練を行う。
	47	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	6	2	マニュアルを作成し職員会議の中で確認を行い訓練を行っている。	指導員だけの訓練などを行い、子どもたちとも実施していく。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	8	0	利用申し込みの際に保護者より聞き取りを行っている。	事前に保護者からの預かりの薬もあるが主治医の指示書などをもとにもう一度保護者と確認作業を行い対応について指導員に周知する。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示所に基づく対応がされているか	8	0	利用申し込みの際に保護者より聞き取りを行っている。	アレルギーだけでなく、食事の携帯など今後主治医の指示書をもとに対応する。
	50	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	8	0	事例等が起こった場合は職員会議を実施し共有している。	
	51	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	8	0	毎年の虐待研修を実施し職員全員が参加し虐待防止に心がけている。	毎年の虐待研修を実施し職員全員が参加し虐待防止に心がけている。
	52	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画に記載しているか	7	1		職員への周知を行う。

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和3年2月10日

事業所名: 粉河青空 保護者等数(児童数) 38 回収数 27 割合 71 %

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	22	3	0	2	室内だけでなく外のスペースや畑があり魅力です。	・安全に遊べる環境の整備を行います。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	22	3	0	2	他の事業所に比べて充実している。	
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	20	5	1	1		・安全に遊べる環境の整備を行います。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	22	1	1	3	建物が古いので暗く感じる。	壁紙に子どもたちの製作の展示コーナーを作ったり、電灯をより明るい物を使用したり、明るい雰囲気になるように工夫する。
適切な 支援の 提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画が作成されているか	26	1	0	0		より保護者・こどものニーズに沿った計画を作成し計画に沿った支援を行います。
	⑥	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画には、子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	25	1	0	1		・個別支援計画をより丁寧に説明します。
	⑦	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われているか	24	1	0	1		
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	23	2	0	1	色々な経験ができるプログラムになっている。	
	⑨	児童発達支援の場合は、保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合は、放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会があるか	15	4	2	2		
保護者 への 説明等	⑩	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	21	2	2	2		
	⑪	児童発達支援計画・放課後等デイサービス計画を示しながら、支援内容の説明がなされたか	24	1	1	1		
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	19	3	1	3		
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	21	3	1	1		
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	21	4	2	0		
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	19	2	2	4		コロナ感染が終息ののち交流会等を実施していきます。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	22	4	0	1		
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	24	2	1	0	休日でも連絡していただけるので感謝しています。	

	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	24	1	0	2		
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	25	1	0	1		
非常時の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	19	4	0	3	コロナ禍でも定期的にマニュアルを発行していただき安心した。	個別支援計画だけでなくよりわかりやすいマニュアルを作り保護者と共有できるように配布等を行う。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	14	6	0	7		定期的に訓練を実施し、訓練の様子などを伝えていく。
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	24	3	0	0		利用している子ども全員が楽しみになるような活動を実施していきます。
	㉓	事業所の支援に満足しているか	25	2	0	0		利用している子ども、保護者が満足していただける支援を行います。

○ この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援・放課後等デイサービス評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。